

令和2年度 森林環境譲与税の使途について

担当課	事業名	事業内容	R2執行額
施設整備室	小・中学校における床張替工事	小・中学校における床張替工事	19,621千円
みどり景観課	基金積立	東大阪市森林環境譲与税基金への積み立て。来年度以降、森林整備及び木材利用に充当予定。	41,696千円

令和2年度譲与額：¥41,696,000-

令和3年3月31日時点基金積立額：¥41,800,000-(運用利子等を含む)

- 東大阪市では、市内の小・中学校における教室の床張替工事を始めとした木材利用を促進するとともに、森林の状況を把握した上で、森林所有者の意向に基づく民有地の森林整備の可能性について検討し、適切な森林整備に関する計画を定め、実施していく方針。
- 令和2年度においては、小学校3校、中学校1校について、計18教室において国産材を活用した床張替工事を実施した。
- 令和3年度においては、引き続き小・中学校における教室の床張替工事を進めて行くこととしている。

□ 事業内容

1 小・中学校における床張替工事

- ・ 国産材を活用し、小・中学校の教室の床を張替えを実施。

【事業費】 25,160千円（うち譲与税19,621千円）

（譲与税は、木質材料費（調達経費を含む）及び木工事費分に充当）

【実績】 小学校3校、中学校1校 計18教室

木材使用量 29.52m³



（事業1：小・中学校の教室の床張替工事）

□ 事業スキーム

一般競争入札

□ 工夫・留意した点

- ・ 森林整備や木材利用の重要性を伝えるため、床貼替工事を実施した教室に森林環境譲与税を活用した旨を表示したプレートを設置した。

◇ 基礎データ

①令和2年度譲与額	41,696千円
②私有林人工林面積（※1）	346ha
③林野率（※2）	1.8%
④人口（※3）	502,784人
⑤林業就業者数（※3）	5人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3：「H27年国勢調査」より